地域を、町を、山形を、そして日本を元気に！！

ちかこしんぶん

周子新聞

2015年9月1日

第18号

発行：志田周子の生涯を銀幕に甦らせる会
（事務局：西川交流センターあいべ内）TEL0237-74-3131
〒990-0703 山形県西村山郡西川町大字間沢280

映画「いしゃ先生」11月7日上映開始

山形県先行上映　前売チケット発売開始

たくさんの方々のご支援、ご協力により製作を進めておりました映画「いしゃ先生」がこのほど完成し、１１月７日から県内７つの映画館で一斉上映開始されます。

前売りチケットの販売を開始しました。７つの映画館共通で 1,100 円の特別価格になります。

取扱窓口

西川交流センターあいべ事務室（TEL０２３７-７４-３１３１）
西川町観光案内所（道の駅にしかわ TEL０２３７-７７-１３３２）
月山朝日観光協会事務局（町役場２F TEL０２３７-７４-４１１９）
水沢温泉館（TEL０２３７-７４-２１００）　大井沢温泉館（TEL０２３７-７７-３５３６）

いしゃ先生 あらすじ

昭和 10 年、東北の山村にもようやく遅い春が来た頃。雪解けの峠道を歩くハイカラな女性がいた。志田周子、25 歳。故郷の父から『ハナシタイコトアリ　スグカエレ』という電報を受け取った周子は、取るものもとらず帰郷したのだ。東京女子医専を卒業後、系列の今村内科で勤務し臨床を学び始めて２年目のことだった。

久しぶりの実家。幼い弟たちは周子に甘え、母・せいが手料理でもてなす。温かい出迎えを周子は喜ぶが、父・荘次郎の様子がおかしい。村長でもある荘次郎は、周子の了承も得ぬまま村に周子名義の診療所建設の予算を通し、すでに建設が始まっていたのだ。「頼む、周子。３年だけ我慢してくれ。その間に、必ず代わりの医者を見つけるから」父に頭を下げられた周子は、怒ることはできなかった。無医村のこの村に医者を置きたいという父の願いは、誰よりも理解していたから。まだまだ未熟な自分が一人で診療所の医師などつとまるのか……不安を抱えつつ、周子は３年間だけ頑張ってみようと心に決める。

いよいよ、念願の診療所が開設された。だが患者は一人もこない。病気はロクサンと呼ばれる祈祷師がお祓いすれば治ると信じられていた時代。「あだなオナゴ医者に診でもらっても命縮めるだげだ」周子のような駆け出しの女医が信頼を得るのは難しい時代だった。

――自身に降りかかる数々の試練に耐え、過酷な運命にも負けず、昭和 37 年にこの世を去るまで、たったひとりで村人の命を守った「いしゃ先生」の物語。